

～夢のある農業を家族と共に～  
金光 祐二、史さん(西条市)

祐二 1977 年生まれ 史 1983 年生まれ  
ホームページ [www.kirari-farm.com](http://www.kirari-farm.com)  
フェイスブック [www.facebook.com/kirarifruitsfarm/](http://www.facebook.com/kirarifruitsfarm/)



☆経営概況☆

夫と2人で果樹、利休草を栽培しています。

施設栽培 12.5a (ぶどう10a、利休草 2.5a)、露地栽培 113a (ぶどう 15a、キウイ(レインボーレッド) 10a、キウイ(ハイワード) 20a、愛宕柿 25a、横野柿 10a、太天柿 25a、不知火 8a)

☆ここがポイント☆

夫婦とも JA で果樹指導員として働く中で、栽培をする楽しさや厳しさ、販売する難しさを改めて知りました。「人が生きるために無くてはならない食べ物」を作り出す農家をもっと夢があって子供たちの将来の選択肢の一つになるべきだと想い、平成 24 年に夫が就農し、平成 27 年に夫婦での経営を始めました。

平成 25 年に経営の主軸にしていたゼスプリ・ゴールドキウイがキウイフルーツかいよう病に感染したため全伐採となり、改めてどんな農業なら家族を養いながら経営を維持できるかを考えました。西条市は1年を通して豊富な種類の果物が栽培でき、それを活かして季節ごとに旬の果物を栽培し、年中販売できる経営を目指すことにしました。夫が畑の管理作業、私が企画・販売を担当しています。

また、夫婦2人の経営なので「たくさんは作らない」「加工はしない(生果にこだわる)」「味と品質にこだわる」をモットーに、希少性がある高価値のギフト商品を中心とした果物づくりを家族で目指しています。

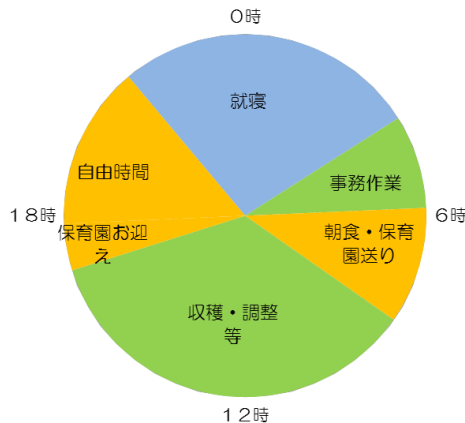


管理作業を担当する祐二さん



企画・販売を担当する史さん

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

子どもたちの学校や保育園がお休みの時はなるべくどちらかが作業を休んで子供たちと過ごし、繁忙期は作業をしながら一緒に畑で過ごしたり、両親に手伝ってもらったりしています。また、まとまったお休みがとれる時は、他県の農家さんの視察を兼ねて家族旅行に行きます。

【一週間のライフスタイル（一例）】

	月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】							
	← 畑作業、荷造り、販売など →						
【普通期】							
	← 畑作業、荷造り、販売など →					← 休み →	



子供と一緒に



家族みんなまで

☆これからの夢や目指すもの☆

ほとんどの畑が、地元農家さんが作れなくなった農地であり、それを引き継いで栽培しているので、自分たちが作りたい果物に品目更新して、それが販売できるようになるまでには年月がかかります。

今は、1年を通して、旬の果物栽培で安定した経営ができるようになることが一つの目標です。

また、巡り合った西条市の自然環境や畑のこと、私たちの想いをお客様に伝え、その想いが返ってくるような、果物を通して繋がりの和が広がる販売をしていきたいです。

☆メッセージ☆

農業は生き物を育てるので子育てと同じです。思うようにいかないことばかりです。1年に1度の勝負です。正直、しんどいし、汗だくで泥だらけにもなります。だからこそ、1年かけて大切に育ててきた我が子を「美味しい」とお客様に喜んでもらえることこそがやりがいであり、原動力です。

家族みんなまで同じ夢に向かって協力し合える仕事は他にはない農業のいいところだと私は思います。ぜひ夢のある農業を一緒にやりましょう。